

佐賀県と九州森林管理局・佐賀森林管理署意見交換

～ 森林・林業が抱える 諸課題および施策を共有 ～

7月20日、佐賀県庁において県林務担当部局と九州森林管理局・佐賀森林管理署により、多様化する森林・林業の現状と今後の課題や施策について意見交換を行いました。

佐賀県からは、小山田林業課長、吉良森林整備課長のほか4名、九州森林管理局署から川戸次長、山根計画保全部長、一重企画調整課長、白石佐賀森林管理署長のほか3名が出席しました。

はじめに、主催者を代表して九州森林管理局 川戸次長から「森林・林業の現状(ウッドショック)、異常気象時の対応、森林経営管理制度の現状と今後の進め方等」を交えて挨拶がありました。

佐賀県小山田課長、吉良課長から、県内の森林・林業の課題・施策の中で、木材価格の動向、林業事業体の育成、挿し木発根性、生長量など優れた次世代スギ精英樹の普及、森林の整備、治山事業の推進状況等」の取り組みを交えて挨拶がありました。

意見交換では、林業の担い手の育成・確保は双方とも重要な課題であることを確認しました。森林経営管理制度の運用については、順調に運用されているが、先行している市町もある中、そうでない市町もあることから、今後もこの制度が円滑に進められるよう支援することとし、先行している市町の取組事例の情報提供や研修会への参加呼びかけが重要であると確認しました。

その他、低コスト造林、ドローンを活用した事業運営など有意義な意見交換となりました。

おわりに、白石署長から、「本日の意見交換会を契機として、今後の森林・林業の施策を推進するため、より一層連携し取り組んでいきたい。」と挨拶を述べ意見交換会を終了しました。



佐賀県 吉良 森林整備課長



佐賀県 小山田 林業課長



九州森林管理局 川戸 次長



佐賀森林管理署 白石 署長